

総評

科目による難易度のばらつきが大きい出題となりました。全体でみると易しめの出題となっています。

今回の試験範囲である、中1の冬期までの内容は、入試に向けてのいわゆる「基礎」の部分ですから、どの教科も確実に身につけておきたい内容ばかりです。間違えた問題は徹底的に復習し、基礎を完璧にしましょう。

1月からの学習はまた一段難しくなります。結果が良くても油断せず、より実践的な問題に取り組みましょう。

道コンのような試験は、受験して結果を見ただけでは価値はありません。自分の間違いの傾向や弱点を把握し、苦手な問題を克服してこそ、受験した価値があるのです。せっかくの受験を無駄にしないためにも、間違えた問題の直しを必ず行って、実力アップに役立ててください。

国語

易しい出題となりました。

今回よくできた人も、このまま油断せず、日々問題演習を重ねて、着実に力を付けることが大切です。

㊦、㊧は全体によくできています。㊨は、問三の得点率が低くなりました。㊩は、問二の単語の問いが難しかったようです。単語の分け方についておさえておきましょう。㊪は、特に問一(1)の得点率が低くなりました。「ふりまはる」の「ふ」を「う」に直している答案が目立ちましたが、単語の一番最初の「ふ」はそのまま「ふ」と読むことに注意しましょう。歴史的かなづかいを現代かなづかいに直すときのきまりもおさえておきましょう。全体に記述・書き抜きの誤字脱字、空欄の前後との接続の不備が目立ちました。必ず答案を見直して、惜しいミスをなくしましょう。

数学

㊫での取りこぼしが目立ち、全体として得点が伸びませんでした。㊫はいずれも基本問題です。間違えたものは必ず復習して身につけましょう。問4、負の数を代入するときはかっこをつけることと、分数の累乗の計算のしかたを確認しましょう。問5は単位を揃えていない誤りが多いです。問7、反比例では、対応する2数の積が一定という関係がいつでも利用できます。

㊬の問1は方程式の基本です。誘導がなくても式が作れるようにしましょう。㊭は、グラフによる出題に少しずつ慣れましょう。式から座標を求めることと、座標から式を求めることを必要に応じて組み合わせます。

数学は、1年生の学習が理解できていなければ2年生の学習が困難になります。間違えた問題は、解説を読むだけでなくしっかり直し自分のものにしましょう。

社会

易しい出題でした。

地理分野では、全体的に資料を活用したり判別したりする問題で得点率が低くなりました。また、㊮問3の韓国の輸出品目の変化や、㊯問6の混合農業について説明する記述問題でも得点率が低くなりました。間違えた問題は解答解説をよく読んで復習したり、記述問題は正確に表現できるように直しをしましょう。

歴史分野では、㊰問6(1)の志賀島がある県、㊱問5(1)の年代並べかえに関する問題で得点率が低くなりました。歴史分野では語句を暗記するだけでなく、どこで起きた内容なのか合わせて覚えるようにしましょう。また、年代並べかえ問題は教科書の内容をしっかりと確認した上で、年表を活用したり年号を暗記したりして、歴史のおおまかな流れを覚えましょう。

理科

標準的な難易度の出題でした。

㊲と㊳は、特に難問がなかったこともあり、基本的に非常によくできていました。㊲問2は、細かい知識が必要とされたこともあり、得点率が低くなりました。

㊴問1(2)では、水面を表す線がない答案が目立ちました。どのような解答が求められているか問題をよく確認するようにしましょう。㊵は、問2(1)の質量パーセント濃度を正しく求められなかった人が多かったようです。計算問題は難しく感じられるかもしれませんが、しっかりと対策をすれば得点することができます。高い得点を目指す上では避けられませんので、今のうちに練習を繰り返して身につけましょう。学習する内容が増える前の1年生のうちに身につけることができれば、優位に立つことができます。

英語

全体としては易しめの出題でしたが、得点率が30%程度になった問いもいくつか見られました。2年生になる前にしっかり復習しておきましょう。

㊶のリスニング問題では他の問いに比べ、問1 No.2の得点率が35%程度と低かったようです。1文1文を順番に聞き取れていれば、正答を選べる問題です。間違えた人は、放送台本をよく確認しておきましょう。

㊷問3も書けなかった人が多かったようです。Let's go to ~は定番の表現でよく出題されます。「そのお祭り」も本文中にありましたので、スペルに迷うようなこともなかったと思います。しっかり見直しましょう。

㊸問5(1)も得点率が低くなりました。それほど難しい問いではありませんでしたが、playに三単現のsをつけ忘れていなかったでしょうか。確認しておきましょう。